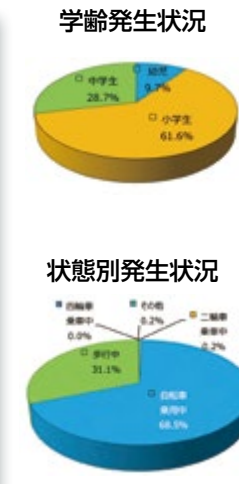


新入学、新学期！交通安全について子どもと一緒に考えよう

令和5年中の子ども（幼児、小学生、中学生）の交通人身事故発生状況をみると、交通事故発生件数・死者数は令和4年に比べて共に増加しています。年齢別にみると小学生の事故が全体の61・6%を占めています。状態別では、自転車乗用中が全体の68・5%（1233件）を占め、月別では6月と7月が多く、時間帯別では16時から18時が最多でした。歩行中では、7歳の死傷者数が最多となっています（警視庁交通部発表資料より）。

「道路に飛び出さない」「信号を守る」「道路を横断する際は横断歩道を渡る」に加え、交差点では「横断歩道の手前で必ず止まって車が来ているか、止まったか確認」さらに「横断中も車が来ていないか確認」などの基本的な交通ルールを繰り返し子どもに伝え、自らの命を守るため安全確認を呼びかけましょう。



交通安全情報

過去5年間！最も多い**7歳の事故!**

令和5年中の子ども歩行中の死亡・重傷事故の約半数は7歳の事故です。

主な原因

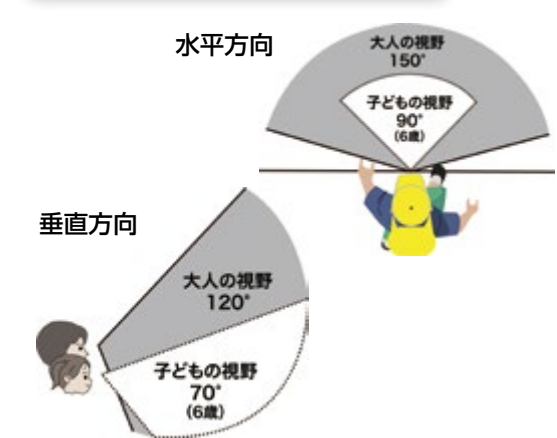
- 飛び出し
- 横断歩道外横断などの横断歩道
- 信号無視

保護者の皆さんへ

お子さんと一緒に、自宅付近や通学路などを確認しましょう。大人には見えても、子どもには見えていないことがあります。子どもと一緒に通学路を確認し、見通しの悪い場所や、通行が難しく危険な場所では、どのように安全を確認したらいいのか、具体的に教えましょう。

基本的な交通ルールを普段の生活の中で繰り返し伝えましょう。道路に飛び出さないこと、信号を守ること、横断歩道を渡る時は必ず止まって車を待つこと、必ず守ってください。

～お手本となる交通行動に心がけ、お子さんの交通安全意識を育てましょう～



●**子どもの視野は狭い**

元ストックホルム大学児童心理研究所所長で児童心理学者のステイナ・サンデルスが1960年代に行った調査結果によると、垂直方向の視野は大人が120度であるのに対し、6歳児は70度。水平方向の視野は、大人が150度であるのに対し、6歳児は90度です。道路の横断時には顔をしっかりと左右に向けて確認することが、命を守るための約束です。

子どもセーフティアクション

警視庁公認交通安全情報サイト「TOKYO SAFETY ACTION」の中の「子どもセーフティアクション」は、子どもと一緒に交通安全を楽しく学べるページです。春の全国交通安全運動を機にぜひ親子や周囲の子どもと一緒にトライしてみましょう。

▶「子どもセーフティアクション」はこちらからご覧いただけます

「春の交通安全運動」に向けて行事拜見

池袋 池袋交通安全のつどい 池袋署周辺道路、池袋西口公園野外劇場グローバルリングシアター (3/16)

「令和6年春の全国交通安全運動」に先立ち、一日警察署長にゴジラを迎え、警視庁音楽隊や池袋小学校よさこいチーム、チアリーダーのエンジェルス、豊島区ぴーすUPがーる宇崎真里愛さんと共に池袋の街を交通安全パレード。その後会場に集まった人たちへ交通事故防止を呼びかけた



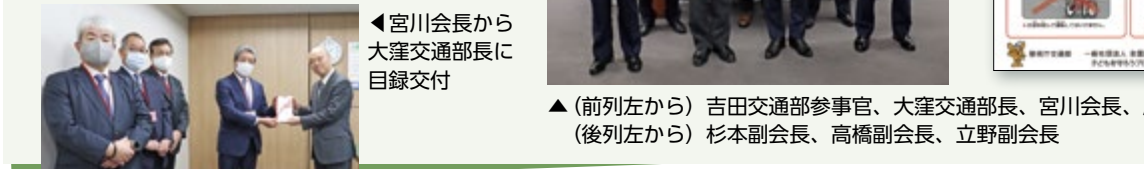
高輪 地域安全安心街づくりトークショー JR品川駅構内高輪口みどりの窓口前 (3/12)

一日警察署長に青山学院大学陸上競技部・長距離ブロック原監督を迎え、駅構内通行人らに啓発品を配布するなど交通安全をアピールした



交通安全啓発品（下敷き）贈呈式

平成29年、令和3年に交通功労賞（優良団体）を受賞した（一社）全国道路標識・標示業東京都協会から2月22日（木）、警視庁交通部へ交通安全啓発品として「交通安全下敷き」が贈呈され、警視庁交通部長室において贈呈式が行われました。



自転車の交通ルールを守って安全に乗ろう